國庫下渡金

養育院費

五十六錢九厘〕
六錢一厘　區部支辨
八厘減〕
一厘〕
厘減〕　郡部支辨
浦役場及難破船諸費
區部支辨
五厘〕
內國勸業博覽會費
厘減〕
一厘〕
一厘減〕　區部支辨
地方稅支辨
神田和泉町一番地
建家使用料ヲ以支辨
厘減〕（以下次號）

歲入總計　四九、二〇六、〇〇七〇〇〇
經常　四五、三七九、三八六〇〇〇
臨時　三、八二六、六二一〇〇〇
歲出總計　四九、二〇六、〇〇七〇〇〇

右歲入ノ總計ヲ以テ其歲出ノ總計ニ比スレハ過不足無シ（以下次號）

叙任賞勳

○二月十日分

特旨ヲ以テ爲親王被叙三品候事

爲親王　博厚王
叙三品　博厚王
神奈川縣警部長從七位　博厚王
任四等警視兼一等警察使　渡邊隆

○二月六日分

任陸軍步兵大佐　陸軍步兵中佐正六位勳三等　村田經芳
任陸軍步兵少佐　陸軍步兵大尉正七位勳五等　塚本勝嘉
仝　仝　仝　勳四等　岡崎生三
任陸軍騎兵少佐　陸軍騎兵大尉正七位　玉置勝卓
任陸軍工兵少佐　陸軍工兵大尉正七位勳五等　關定暉
任陸軍會計一等副監督　陸軍會計二等副監督從六位勳四等　中村宗則
陸軍會計監督補正七位勳五等　遠藤啓
仝　仝　仝　篠原國清
仝　仝　仝　吉田公宗
仝　仝　仝　川俣國傳
任陸軍會計二等副監督
任海軍大機關士　海軍中機關士從七位　吉田貞一

時事新報

日本帝國ノ海軍（去十三日ノ續）

我輩ハ過日來數回ノ社說ニ於テ宇內各國ノ海軍ヲ檢閱シ畧其實況ヲ知了シタルヲ以テ是ヨリ我輩ハ讀者ト共ニ我日本帝國ノ海軍ヲ檢シ其實力果シテ一大獨立帝國ノ資格ニ適當スルモノナルヤ否ヲ觀察スベシ

目下我帝國ノ海軍ハ一箇年ノ定額三百四十万圓ヲ費スモノナルガ近日道路ノ風說ニ從ヘバ此外更ニ臨時費三百万圓ノ增加アリタリトカ申セヒ我輩未ダ公然タル告知ヲ得ザルヲ以テ其眞僞ヲ斷スルヿ能ハズ唯我輩ハ如何ニモシテ此風說ノ眞ナランヿヲ希望スルノミ海軍人ノ總員ハ明治十四年ノ調ニ九千餘人軍艦ノ總數ハ大小二十七艘此內鐵艦五艘扶桑、金剛、比叡、龍驤、東ノ諸艦是ナリ外ニ「ホワイ、ヘッド」水雷火船四艘アリ以上總計シタルモノ之ヲ大日本帝國ノ海軍トス扶桑艦ハ明治十年英國テームス河畔ノポプラーニ於テ「サミユーダ」氏ガ製造シタルモノニシテ其雛形ハ先年我國ニ渡來シタル有名ノ「リード」氏ガ供スル所ナリ長サ二百二十尺、幅四十八尺、排水積三千七百噸、蒸氣機關ハ「ペン」氏ノ製造ニシテ實馬力三千五百螺旋ハ二個ヲ備フ甲鐵ノ厚サハ吃水線ニテ九寸（インチユ）、裝載ノ大砲ハ口徑九寸半重量十九噸半ノ「クルップ」砲四門ト外ニ小量ノ「クルップ」砲其他六門、進航速力ハ十三「ノット」ナリ金剛比叡ノ兩艦ハ同種同形ノ姉妹船ニシテ其雛形ハ同シク「リード」氏ノ供スル所ナリ金剛艦ハ明治十年英國ハルノ「アール」造船所ニテ製造シ比叡艦ハ同年英國ペンブロークノ「ミルフオルド、ヘヴン」會社ニテ製造シタリ各長サ二百三十一尺、幅四十一尺、排水積二千二百噸、蒸氣機關ハ「アール」造船所ノ製造ニシテ實馬力二千五百、甲鐵ノ厚サハ吃水線ニテ四寸半、裝載ノ大砲ハ口徑七寸弱重量五噸半ノ「クルップ」砲三門四噸ノ同砲六門及ビ其他數門、進航速力ハ十四「ノット」ナリ東艦ハ米國南北戰爭ノ際南部賊軍ノタメニ元治元年佛國ボルドーニ於テ製造シ翌年內乱鎭定ノ後北部米政府ノ所有ニ歸シ次デ我德川政府ノ買入ル、所トナリシモノニシテ其原名ハ「ストーン、ウオール」ト稱シ有名ナルモノナリキ甲鐵ノ厚サハ吃水線ニテ四寸（インチユ）弱裝載ノ大砲ハ大小ノ「アームストロング」砲四門ト其外數門進航速力ハ九「ノット」半ナリ然レヒ此鐵艦ハ製造以來既ニ二十年ニ近キ日月ヲ閱シタル老船ナレバ藝術日進ノ今日ニ當テハ漸ク將ニ外洋遠航ノ用ニ不適當ナル齡ニ近ツカントスルノ恐アルナリ龍驤艦ハ慶應元年英國アバヂーンニテ製造シタルモノニシテ甲鐵ノ厚サハ四寸裝載ノ大砲ハ大小ノ「ヴハヴハシユール」砲及ビ其他ノモノ十餘門進航速力ハ七「ノット」ナリ以上五艘ノ鐵艦ヲ除キ蒸氣木艦中ニテ堅牢ノ良艦ト稱スベキハ橫須賀造船所ニテ製造シタル新軍艦清輝、天城、海門、磐城及ビ不日落成ノ天龍其他外國ヨリ購求シタル日進、春日、筑波、孟春等ノ諸艦並ニ御召艦迅鯨號是ナリ

讀者ハ今此大日本帝國ノ海軍ヲ以テ他ノ宇內各國ノ海軍ニ比較シ果シテ何等ノ感情ヲ起サル、ヤ必ズヤ其未ダ強大ナラザルヲ憾ムノ外ナカルベシ今ヤ文明ノ風潮ハ滿天下ニ橫溢シテ漸ク道理ノ世界タルニ近ツカントスルノ勢ナキニアラズト雖ヒ必竟唯學者社會ノ希望ニ止マルニ過キズ願ミテ其實勢ヲ見レバ各國ノ交際ハ今仍ホ弱肉強食ノ呑噬主義ニ從フモノニシテ力ノ存スル所即チ理ノ歸スル所タルノ實アルヲ免カレズ今後幾十百年ノ間ト雖ヒ亦必ズ斯ノ如クナルベシ然ルニ此呑噬搏擊ナルモノ昔日ニ在テハ其區域甚ダ狹ク隨テ之ニ備ルノ術モ頗ル容易ナルモノナリシト雖ヒ彼ノ蒸氣船車電信等ノ發明以來ハ世界ヲ縮小シテ從前ノ百分一ニモ足ラザルモノト爲シ人事ノ繁多ナル實ニ名狀ニ堪ヘザルモノアリ故ニ一國ノ兵備ニ於テモ昔日ハ左右二三ノ隣國ヲ目的トシテ事足リタルモノ今ハ則チ我比隣タル世界萬國ヲ目的トシテ常ニ其擧動ニ注目シ之ニ應ズルノ備ヲ爲サヾルベカラス今ノ國ヲ維持スルノ困難ハ實ニ昔日ニ百倍スルモノト云ハザルヲ得ス我日本帝國ノ如キモ一國ヲ成シテ宇內ニ立チタル以上ハ立國必要ノ兵備ナカルベカラザルハ固ヨリ論ヲ俟タザルベシ而シテ今ノ海軍ノ僅ニテハ此四面環海ノ帝國ヲ維持スルニ或ハ大ニ不足スル所アルベシト覺リタラン以上ハ即坐ニ海軍擴張ニ着手スベキハ理ノ當サニ然ルベキ所ナルベシ然ルニ目下我日本帝國ノ海軍ハ何程ノモノニシテ

滿足スベキヤト云ハンニ當局者其人ニ於テハ既ニ其定見アルㇳ無論ナリト雖𪜈我輩局外ノ人ハ之ヲ斷定セルㇳ甚ダ難シ故ニ今之ヲ言フモ或ハ其當ヲ失シテ却テ當局者ノ笑ヲ招クノ恐アリト雖𪜈先ツ我輩ノ考案ニ依レバ[illegible]海軍ニ東海鎮守府ナルモノアリテ之ヲ横濱ニ設置セリ自今之ヲ擴メテ中國ニ西海鎮守府、九州ニ南海鎮守府、北海道近傍ニ北海鎮守府ヲ増置シ各鎮守府ニ附屬スルニ堅牢快脚ノ軍艦十二艘ノ大艦隊一個ヲ以テシ外ニ世界周航ノ遊軍トシテ一個ノ豫備軍トシテ一個ヲ備ルㇳトスレバ總計七十二艘ノ新軍艦ヲ要スルㇳナルベシ軍艦製造費ハ船ノ種類ニ依テ一様ナラズ三四十万圓ノ廉ナルモノヨリ三四百万圓ノ廉ナラザルモノニ至ルマデ各我ガ擇ブ所ナリト雖𪜈平均一艘五十万圓ノモノニシテ滿足ナリトスルトキハ我日本帝國ノ海軍擴張ノ費用ハ三千六百万圓内外ニシテ十分ナルベシ然ルニ又擴張ノ方法ハ仝五箇年ニシテ目的ニ達セントスレバ一年ニ七八百万圓ノ支出ヲ要シ十年ノ後ヲ期セントスレバ一年ニ三四百万圓ノ支出ナルベシ目的ニ適スルノ遲速ハ唯其辨ジ得ル所ノ金額ノ多少ニ依テ之ヲ定ムベキノミ　（未完）

雜報

○玉座常置　從來　聖上の參事院へ臨御在らせらるゝ都度玉座を設けられしが自今ハ屢々臨御在らせらるゝに付自今御椅子卓子並に御料紙等總て備置かるべき旨を此程全院議員へ御沙汰あらせられたり

○御視察　御狩場見分として去る十一日神奈川縣下[illegible]寺村邊へ赴かれたる米田侍從長藤波侍從の兩君ハ一昨夜歸京ありて該地方ハ積雪の爲めに道路惡しく玉座を設くる場所なき由を奏上されしに付暫時御見合せとなり更に來月十日頃行幸在せらるゝ事に御決定ありしと承る

○御枕置し　昨日ハ皇女增宮の御産毋千種權典侍の御枕置しに付　聖上皇后宮より青山御産所へ種々御祝儀物を賜り同宮御養育掛を始め女官一同へ御料理を賜りたり且同權典侍ハ尚自日間同宮御附係を命せられたる由

○三品華頂厚博親王薨　去る十日特旨を以て親王と爲し三品に敍せられ給ひし博厚王ハ此程よりチフテリア症に罹られ玉ひしに付醫官の方々ハ朝暮枕席を離れず種々技術を盡し治療に等閑なかりしも命數の限在せられてや最と惜くも御年僅に八歳にして昨朝薨去あられたり　聖上皇后宮にハ斯くと聞食すと直に御弔として侍從一名を芝三田臺町一丁目五番地ある同邸へ御差立に相成り又有栖川、小松、北白川、伏見の四宮を始め大臣參議宮内卿其他宮内省の官吏若干名は同邸へ參集ありて吊詞を述へられたり又　聖上にハ毎朝皇靈の御拜を三日の間御憚り遊されたり就てハ歌舞音曲三日間停止を仰出さる又昨日宮内省御用木具調進師中川新右エ門へ御棺其他木具の御用調進を仰付られたり右親王薨去に付てハ豫て昨日富士見町偕行社に於て有栖川左府宮の御歸朝を祝するが爲め開かるゝ陸軍將校の宴會ハ延引され同長與衛生局長が今般衛生諮問會に出京せし各府縣の衛生課長及ひ各病院長の人々を紅葉館に招請ある筈なりしも延引されたり

○祈年祭　明十七日伊勢神宮祈年祭に付祭主久邇宮にハ去る十二日西京御出發仝地へ赴かせられし旨其筋へ報知あり又當日ハ日比谷御門内神道事務局に於て同祭典を執行さるゝに付有栖川神道教導總裁宮にも參拜せらるゝと

○谷干城君　谷陸軍中將にハ豫て歸省せらるゝよしの風說ありしが愈本月下旬にハ是非共東京を出發さるゝ見込にて其支度中なりと聞く

○宇都宮三郎君　宇部宮工部大技長にハ眼病にて引籠り居られしが最早全快に付一昨日より出勤せられたり

○江口高確君　江口巡査總長にハ此程より病氣にて引籠療養中に付昨日石原巡査副總長へ事務代理を命せられたるよし

○小松原參事院議官補　同君にハ至急御用にて豆州熱海地方へ出張を命せられ去る十三日出發されたり

○中村孝禧君　土木局詰中村内務權大書記官ハ屬官一名と共に利根川筋巡廻を命せられ昨日出發せられしが多分山田内務卿の許へ赴むかれしならんと云

○神宮御造營掛　内務省社寺局詰准奏任御用掛大谷順藏、木元氏好の兩君ハ昨日神宮御造營事務取扱を命せられたり

○判事轉任　判事中御門經明、赤司欽一、兒玉武質の三君ハ一昨日東京始審裁判所詰を命せられたり

○岡崎歩兵大尉　近衛歩兵第二聯隊副官岡崎歩兵大尉ハ今回少佐に昇任され名古屋鎭台附を命せられ本日發京にて赴任さるゝと

○朝鮮出張醫官　陸軍本病院詰の海瀬軍醫ハ今般朝鮮國釜山浦領事館詰を命せられ來る三月上旬の便船にて同地へ赴むかるゝよし

○神奈川縣警官の辭職　警官辭職と題し昨日の紙上に掲載せし神奈川縣警官の辭職は愈々聞屆になり小田原、八王子、藤澤、横須賀の各警察署長を始め横濱本署詰れ下田、前田、金田、
其他諸氏とも一昨夜依願免
是と同時に辭表を差出さる
何の沙汰もあれど何
同港より通知

○玄海丸　本社々員森下岩
の午後十時に神戸へ着港な
しが何故斯くは延着せしか
據れバ同人が乘込みたる玄
濱を出發せしも同十時で
行を見合せ相摸沖に錨を卸
しと其延着も無理ならぬ事

○參事院　參事院にてハ
長席に着かれ地方税の儀

○臨時決算帳　昨年の朝鮮
の儀ハ兼て舊臘廿五日を以
より調製の上會計檢查院
は來る三月卅日迄に決算報
さるゝ都合なるよし

○森林法并商法草案　客
せられたる森林法は內閣
へ差出され目下御叡覽中
ばさるゝ旨をあの頃太政
商法草案も仝年中編纂の
ば不日參事元老兩院の會
發布の節一同公布せらる

○石油取締規則改正　明
十號を以て布告せられし
し如く昨日太政官より改
寒發炤試驗法を用ひ攝氏
以上の溫度に澄せされば
し三十度に達せすして發
られたり尚は委しくハ明

○海軍造船生徒　過日の
船局に於て造船生徒を募
目下頻りと試驗法等の取
手續さハ年齡滿十五年以
造船工船大工等の業を
採用さるゝよし猶本月中
いふ

○赤羽工作分局　工部省
五日同主任官吏より假
器局主任官吏へ悉皆引渡
造所及び品川硝子製造所